工事業者様用

- このたびは東芝パッケージエアコン用ドレンアップキットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり、正しい取り付けを行ってください。
- 取り付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- この取付説明書を必ずお客様に渡して、保管いただくように依頼してください。

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン　直膨コイル付全熱交ユニット（天井埋込形）

ドレンアップキット取付説明書

形名　TCB-DP31HEX

⚠警告

- **取り付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
  ご自分で取り付け工事をされて不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- **取り付け工事は、この取付説明書にしたがって確実に行う**
  取り付けに不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- **再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼する**
  取り付けに不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

“安全上のご注意”については、東芝パッケージエアコン直膨コイル付全熱交ユニット（天井埋込形）の据付説明書、取扱説明書をご覧になり、お守りください。

取り付け時のお願い

取り付け工事の際、板金端面による切創などのけが防止のため、保護具をつけて作業してください。

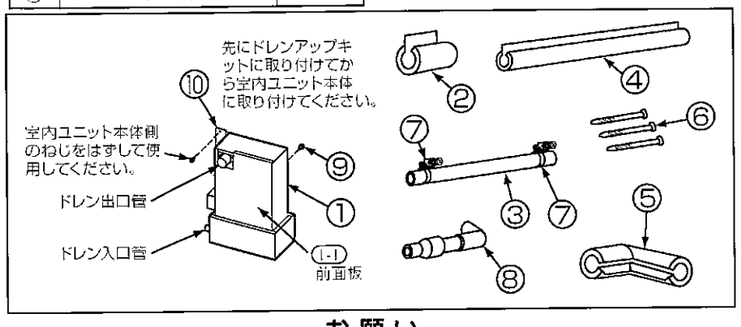
適用機種名　このドレンアップキットは、下記の東芝パッケージエアコン直膨コイル付全熱交ユニット（天井埋込形）（以下室内ユニットと表わします）に使用します。その他の製品には取り付けできません。

MMD-VNK503HEX , VNK803HEX , VNK1003HEX-A , VNK1003HEX-B

付属部品（次の部品が入っています）　（単位：mm）

No.	品名	数量
①	ドレンアップキット本体	1
②	ホースバンド断熱材（内径φ49×120L）	1
③	ホース（内径φ21.5×330L）	1
④	断熱パイプ（内径φ32×285L）	1
⑤	エルボ断熱材	1

No.	品名	数量
⑥	結束バンド	3
⑦	ホースバンド	2
⑧	継手（エルボ）	1
⑨	座金付六角ボルト(M6×12L)	3
⑩	取付板	1



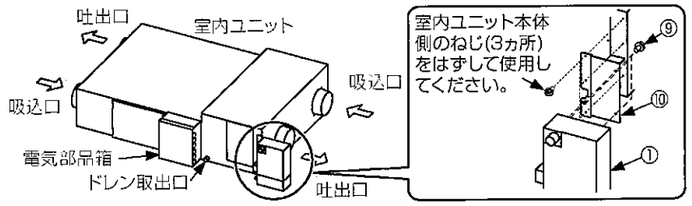
お願い

- ドレンアップキット本体の取り付けは、必ずこの取付説明書に記載されている方法にしたがい、正しく行ってください。
  他の方法で取り付けますと、ドレンアップキット本体と室内ユニットとのドレン皿の位置がずれ、水漏れの原因となります。
- 室内ユニットの水平度を確認してください。（確認方法は室内ユニットの据付説明書を参照してください）
- ドレンアップキット本体の下面天井部に必ず点検口を設けてください。

取り付け方法

1 ドレンアップキット本体の取り付け

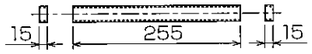
- 室内ユニットを床面に置きます。その際室内ユニットの底面と床面との間を20mm以上あけてください。又、断熱材を貼ってありますのではがさないように、また傷つけないように注意してください。室内ユニットの電気部品箱に向かって右側に、下図のように取り付けてください。



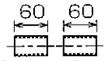
- ①ドレンアップキット本体を⑨座金付六角ボルト３本で取付板⑩に固定してください。
- 室内ユニットから六角タッピンねじを３本はずし、そのねじを用いて室内ユニットと取付板を固定してください。

2 ホース接続の準備（単位：mm）

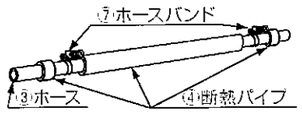
- ④断熱パイプを下記寸法にハサミなどで切断してください。



- ②ホースバンド断熱材を下記寸法にハサミなどで切断してください。



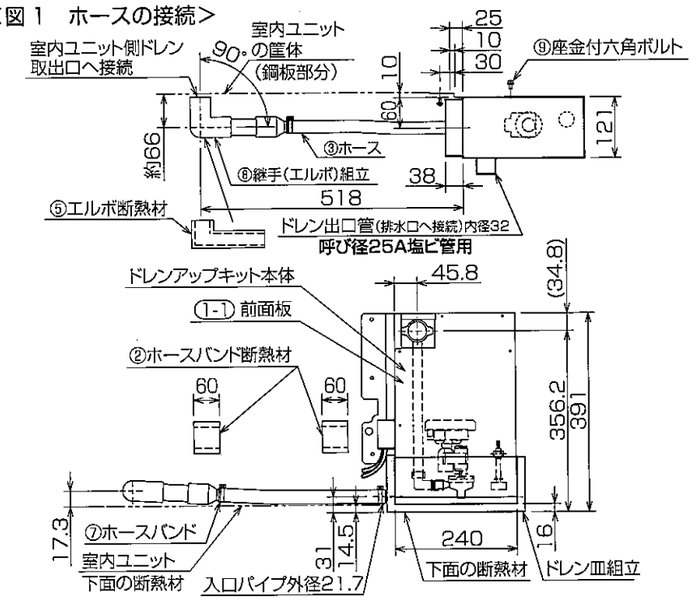
- ③ホースに④断熱パイプを右図のように組み込んでください。



3 ホースの接続…図１参照（単位：mm）

- 室内ユニットのドレン口に接着剤を付けて⑧継手（エルボ）組立を挿入してください。水平か１～2°下向きに取り付けてください。

＜図１　ホースの接続＞

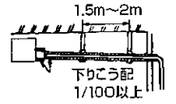


- ２項で組み込んだホース組立を入口パイプと⑧継手（エルボ）に挿入し、④断熱パイプの剥離紙をはがして、すきまのないように貼ってください。
- ⑦ホースバンドの上に２項の②ホースバンド断熱材を取り付け、剥離紙をはがして、すきまのないように貼ってください。
- 露付き防止のため、断熱材をテーピングしてください。

4 ドレン配管

- ドレン配管はドレン出口管より高く据え付けないでください。
- ドレンアップキット本体のドレン出口管からのドレン配管は必ず下り勾配（1/50～1/100）にして、途中に山越え、鳥居配管、トラップなどのドレンポンプの負荷になるものは設けないようにしてください。ドレンポンプの故障の原因となります。（また、ドレン出口管に無理な力がかからないように、たるみ、ゆるみが出ないように支持固定してください）

- ドレン配管は水滴落下防止のため必ず10mm以上の断熱材で隙間なく断熱します。ドレン出口管の接続部も必ず断熱してください。
- ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。配管が長い場合は、1.5～2m間隔で支持金具を設け、波打ちを防止してください。

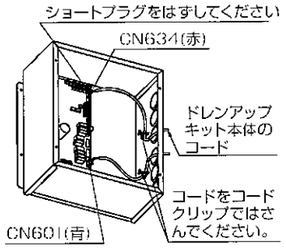


- 集合配管は右図のように施行してください。
- エア抜き管は付けないでください。
  ドレン水が吹き出し水漏れの原因となります。

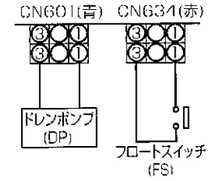
5 配線…図２・図３参照

- 室内ユニットの電気部品箱のカバーをはずします。
- 電気部品箱内のCN601（青）にドレンアップキット本体の3Pコネクタ（青）を差し込みます。
- 電気部品箱内のCN634（赤）にドレンアップキット本体の3Pコネクタ（赤）を差し込みます。
- ＊CN634に差し込んであるショートプラグは取りはずしてください。
  （ショートプラグは使用しません）（コードは電気部品箱内でクランプしてください）

＜図２　配線要領＞



＜図３　配線図＞



配線はドレンアップキット本体およびコネクタ部に、無理な力が掛からないようにしてください。

試運転

■ドレン排水状態の確認

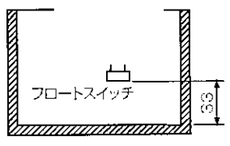
電気工事・配管工事終了後、冷房運転をしてドレン水がスムーズに排水することを確認します。

- 室内ユニットを長時間運転できない場合は、室内ユニットのドレン皿に水を注水して、ドレン水がスムーズに排水することを確認します。
- 各接続部から水漏れのないことを確認します。

■フロートスイッチの動作確認

- 冷房または暖房運転中、①-① 前面板をはずして、フロートスイッチを動作させます。ドレンポンプは運転したままで室内ユニットの運転が停止することを確認してください。
- 冷房または暖房運転停止後、フロートスイッチを動作させます。
  このときドレンポンプが運転してドレンを排水することを確認してください。

＜フロートスイッチ位置＞



- フロートスイッチの動作はキットの前面板をはずし、フロートスイッチのフロート部をドライバーなどで押し上げて行います。
- フロートスイッチを連続して２分以上動作させるとエアコンが異常停止しますので注意してください。

保守・点検について

室内ユニットおよびドレンアップキット本体は定期的な保守点検が必要です。

１回／年、ドレン皿の汚れ具合をチェックし、汚れがひどい場合は掃除を行ってください。

◎お客様とご相談のうえ、ぜひ保守点検契約することをおすすめします。

EH99877601